

2021年4月27日(火) 上毛新聞

県央

映画館で
トーケン

今村監督とDWATメンバー

災害支援に福祉の視点

前橋

障害と災害を考える
トークイベントが25
日、前橋市の前橋シネ
マハウスで開かれ、ドキュメ
ンタリー映画監督と災害現場
での支援活動従事者が意見交
換した。参加者は障害がある
人に対する有事の際の必要な
支援や、平時での気付きの重
要性を再確認した。

同作品は、生まれつき耳が

イベントでは、耳の聞こえ
ない障害者と災害を追った映
画「きこえなかつたあの日」
の今村彩子監督(42)と、大規
模災害時に福祉の視点で避難
所内を支援する県災害派遣福
祉チーム(ぐんまDWAT)
のメンバー、鈴木伸明さん
(45)が対話した(写真)。

今村監督は福祉の視点での
支援の在り方を質問。鈴木さ
んは、停電でテレビが映らな
くなり、聴覚障害者が情報源
の大部を失ったという作中
のシーンを挙げ、「情報のバ
リアフリー化が必要。一人一
人が平時から必要な支援に気
付くことが大切」と呼び掛け
た。

トーカイイベントは、同作品
の上映(5月7日まで)を記
念して開かれた。(北沢彩)



聞こえない今村監督が、東日本大震災など全国で発生した
自然災害やコロナ下での耳の
聞こえない人の暮らしぶりを
取材。手話が通じないことに
よる避難所での困難や、難聴
者らでつくる災害復興ボラン
ティアの活躍などを克明に記
録した。